UNI-PEX

取扱説明書（保証書付）

ミュージックチャイム
MZ-1143

このたびは、ミュージックチャイムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機は19曲の内蔵音源とSDカード（別売）に収録したMP3形式のユーザー音源を設定して、最大8曲まで再生できるミュージックチャイムです（DT-1800と組み合わせると、最大99曲まで再生可能です）。
タイマーと組み合わせて利用していただきますと、設定した時刻に曲を放送、および停止することができます。

目次

安全上のご注意……1〜3
設置・使用上のご注意［免責事項について・お願い］……3〜4
特長……4
再生曲目と標準再生時間……5
SD音源［SDカード（別売）］のご使用について……5
各部の名称と説明（前面／後面）……6〜7
各チャンネルの優先順位について……7
接続方法……8〜9
データ設定の種類と出荷時の設定……10
フレーズについて……10
本機のメニュー構成……11
設定手順の概要……12〜13
メニューの選択……14
チャンネル設定（再生内容の設定）……14〜17
音量設定……18〜19
チャンネル確認……20
機器設定……21〜22
SD音源のカードを抜いた時の表示について……22
チャンネル9（手動）の設定について……23
再生を途中停止する方法……24
具体的な使用例1〜5
1.決まった時刻にチャイム音源を鳴らす……25〜27
2.ウエスミンスターA→無音（2秒）→ラジオ体操第一の順に再生する…28〜30
3.音源をエンドレス再生し、BGM用途に使用する……31〜34
4.一定間隔でおこなわれる案内放送に使用する……35〜38
5.BGMのエンドレス再生中に、案内放送をおこなう……39〜45
エラー表示……46
困ったときは……47
雑音が発生する場合は……47
EIA規格ラックへの取付方法……48
著作権法について……48
使用上のご注意……48
外観寸法図……49
定格……49
連絡先のご案内／保証書……50
設定内容の記録表……51〜52

安全上のご注意　必ずお守りください

●ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

△記号は注意（危険・警告）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

◯記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめ、販売店などに連絡する

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。

ACサービスコンセントに接続する機器の消費電力の合計は、機器に表示しているW数を超えない

火災の原因となります。音響機器以外は接続しないでください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、スピーカ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

SDカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

この機器の上に花瓶など水の入ったものを置かない

こぼれたり中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器を水滴のかかる場所に置かない

中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かない

火災の原因となります。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

工事は工事店に依頼する
工事には、技術と経験が必要です。、火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。

SDカード挿入口に異物を入れない
火災や感電の原因となることがあります。

濡れた手で、電源コードを抜き差ししない
感電の原因となります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。

移動するときは、コード類を傷つけない
火災、感電の原因となることがあります。移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

通信ポートにハブやパソコン並びにPoE対応機種を接続しない
ハブやパソコン並びにPoE対応機種を接続しますと破損・焼損する恐れがあります。

定期点検を実施する
専門の業者（技術者）による定期点検を実施し動作状態などを確認してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、修理を工事店などに依頼してください。

テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器、スピーカなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続が終わりましたら、必ず端子カバーをもとどおりに取り付けてください。感電の原因となることがあります。

1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

設置・使用上のご注意

●EIAラックに組み込む場合は、本機と電力アンプの間には必ず、1U以上の間隔を開けてください。別売の換気パネル RIB-1Fを取り付けることをおすすめします。
●本機を雑音発生の原因になる機器※の近くには設置しないでください。
※高周波機器(乾燥機,医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモータ、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピュータ、電子楽器など)、空気清浄器。

遮断装置について

●本機には電源スイッチがありませんので、本機の電源プラグが遮断装置になります。
●本機は遮断装置へ容易に手が届くように、電源コンセントの近くに設置してください。
●ラックなどに組込む場合は3mm以上の接点距離を有する電源スイッチまたは、配線用遮断器を設置してください。更に、それらは保護アース導体を除く、主電源のすべての極が遮断できなければなりません。
●本機をDC供給電源で駆動する場合は過電流保護のため、本機との間に適切な容量の遮断装置を取り付けてください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など。

②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害。

③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害。

④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害。

⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。

本機を長期間お使いの場合は

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり、故障したり、事故の原因となることがあります。下記❶～❹の様な状態ではないか、日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら、直ちに電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに、買い換えの検討をお願いします。

❶煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。　❷電源コード・電源プラグが異常に熱い。または亀裂や傷がある。❸本機に触れるとビリビリと電気を感じる。　❹電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

特　長

1）省線化

・弊社のプログラムタイマーDT-1800との組み合わせで、配線の省線化が可能です。
専用ケーブル1本で接続可能ですので、配線の手間がかかりません。

2）最大99チャンネルまで設定、再生可能

・DT-1800と組み合わせることで、最大99チャンネルまでの設定、再生が可能です。

※MZ-1143単体使用時の最大チャンネル数:9（手動（CH9）含む）

3）最大7台まで接続可能

・DT-1800と組み合わせることで、最大7台までのMZ-1143を接続することができますので、
複数の音源を同時に鳴らす用途に使用可能です。

4）フレーズ再生機能＜具体的な使用例は28ページ＞

・フレーズ再生機能により、最大8曲までの音源を連続して再生可能です。

・チャイムの後にラジオ体操を鳴らすなどの連続再生が可能です。

5）エンドレス再生機能＜具体的な使用例は31ページ＞

・エンドレス再生機能により、連続して再生するBGM再生などの用途に使用可能です。

6）インターバル再生機能＜具体的な使用例は35ページ＞

・インターバル再生機能により、一定間隔で行われる案内放送に使用可能です。

・再生間隔は0分～60分まで1分単位で設定可能で、多彩な用途に使用可能です。

7）高音質高圧縮のMP3音源を再生可能

・SDカードを用いたMP3（MPEG1 Audio Layer-3）音源の再生が可能です。

8）SDカードの使用により、ユーザー独自の音源を再生可能

・SDカードの使用により、ユーザー独自の音源(お好みの曲や、案内放送など)を再生可能です。

・SDカードのメモリ容量は、小容量の16MBから大容量の2GBまで対応しています。

再生曲目と標準再生時間

内蔵音源

JASRAC 日本音楽著作権協会(録)許諾 M-0770015

●本機は19曲の標準音源を内蔵しております。

No.	曲名	再生速度	標準再生時間
1	ウェストミンスターの鐘A	7段階	約28秒
2	ウェストミンスターの鐘B	7段階	約28秒
3	家路	7段階	約1分15秒
4	野ばら	7段階	約34秒
5	エリーゼのために	7段階	約36秒
6	蛍の光	7段階	約1分11秒
7	グリーンスリーブス	7段階	約1分01秒
8	ラジオ体操第一(号令入り)	3段階	約3分10秒
9	よろこび	7段階	約23秒
10	あおぞら	7段階	約33秒

No.	曲名	再生速度	標準再生時間
11	ゆうやけこやけ(作曲：草川　信)	7段階	約36秒
12	ふるさと	7段階	約34秒
13	恋は水色(作曲：A. POPP)	7段階	約1分45秒
14	エーデルワイス(作曲：R. RODGERS)	7段階	約1分00秒
15	上り4音チャイム	5段階	約3秒
16	下り4音チャイム	5段階	約3秒
17	警報音 1	3段階	約34秒
18	警報音 2	1段階	約32秒
19	警報音 3	1段階	約36秒
20	停止(※1)	―	―

※1「停止」は曲目ではありません。再生中の曲を停止させる設定になります。

SD音源[SDカード(別売)]のご使用について

ご使用可能なＳＤカードについて

SDロゴは商標です。

●ミニSDカード、SDHCカード、SDXCカード、マイクロSDカード、マイクロSDHCカードは、本機器でご使用頂けません。

●上記以外のSDカードでも、一部のメーカーや特定のSDカードでは、本機器でご使用頂けない場合がございます。
本機で動作確認済みのSDカードについては、弊社営業所又はお客様相談窓口までお問合せをお願い致します。

SDカードの記録時間のめやす

※サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合

カードの容量	16MB	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
録音時間	約15分	約30分	約1時間	約2時間	約4時間	約8時間	約16時間	約32時間

MP3形式データ(音楽、音声など)の準備について

●音楽などをSDカードに収録する場合は、パソコンなどを使用してMP3形式にし、SDカードに転送してください。

●SDカードは下記(※2)のSDカードフォーマッタを使用し、事前にフォーマットをしてからお使いください。
ご参考　※2 http://panasonic.jp/support/sd_w/download/index.html

●本機はフォルダやプレイリストには対応していませんので、ファイルはフォルダなどを作らずに転送をしてください。

●ファイル名は**半角英数字8文字**以内で拡張子は「**.MP3**」としてください。漢字や全角文字、ロングファイル名には対応しておりませんので正しく表示されません。
ファイル名の付与例 →「ABCD1234.MP3」

●MP3データは下記のフォーマットに対応しています。

サンプリング周波数	16kHz～48kHz
ビットレート	32kbps～320kbps

※VBR(可変ビットレート)対応

※サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。

●詳しくはパソコン及び関連するアプリケーションなどの説明書をご覧ください。

SDカードのデータのバックアップについて

●SDカードに記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などにより失われることがあります。失っても困らないように、大切な録音データはパソコンにバックアップし、また記憶内容をメモして保存しておいてください。

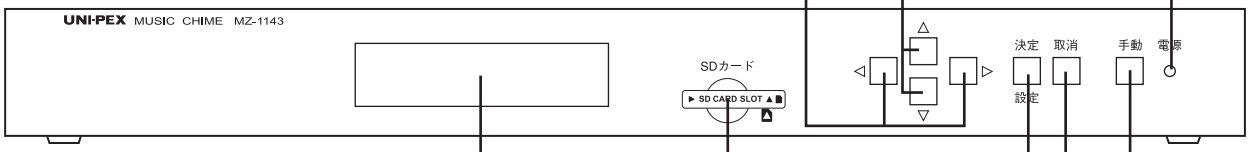
各部の名称と説明

（前面）

上下ボタン
チャンネル番号、設定項目を変更するときに押します。

左右ボタン
各チャンネルの設定値を変更するときに押します。

電源表示灯
本機が通電中のときに点灯します。



液晶表示部
通常時はメニューを表示します。
設定時は各チャンネルの設定項目を表示します。

■ご注意
バックライト及び表示は、30秒間操作をおこなわないと消灯します。
ただし、設定中の場合はバックライトのみが消灯します。
設定中、5分操作を行わないと、初期メニューに戻ります。

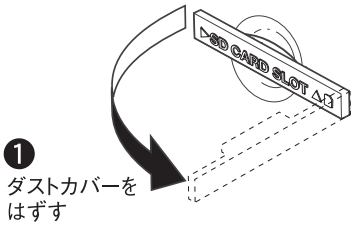
決定（設定）ボタン
各項目の内容を決定（設定）するときと、各チャンネルの設定状態に移行するときに押します。

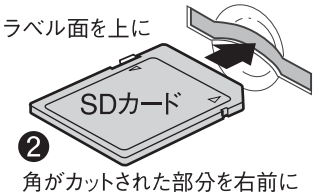
取消ボタン
テスト再生時にこのボタンを押しますと、再生を停止させることができます。
各チャンネルの設定時にこのボタンを押しますと、チャンネル番号設定画面に変わります。

手動起動ボタン
チャンネル9（手動）に設定した曲目を、ワンプッシュで再生します。

SDカード（ユーザー音源用）挿入口／ダストカバー

SDカード（別売）を挿入してください。
詳しくは、5ページの「SD音源[SDカード（別売）]の使用について」をご覧ください。





■ご注意
動作中や操作の途中などにSDカードを取り出したり、電源を切らないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。SDカードの取り出しは必ず停止中におこなってください。

取り出しかた

カードの中央部を押し込み、ロックをはずし、まっすぐ引き抜く

注）ロック状態では絶対にカードを引き抜かないでください。カードスロットが破壊されることがあります。

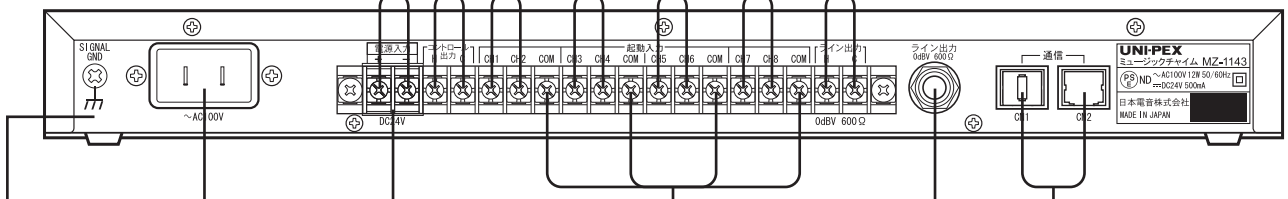
（後面）

コントロール出力端子
（MAX. DC30V　0.5A）
アンプの起動に使用します。
（8ページの接続例参照）

CH1～CH8起動入力端子
各チャンネル（1～8）ごとの起動入力端子です。
再生したいチャンネルの端子を短絡すると、そのチャンネルに設定された曲の再生が開始されます。プログラムタイマーやベルタイマーなどのメーク接点に接続してください。

DC電源入力端子
（停電補償用）
DC24V（DC22V～DC26V）電源を接続します。

ライン出力端子
（0dBV　600Ω　不平衡）
アンプのライン入力などに接続します。
ライン出力ジャックを使用時にはこの端子は使用できません。



AC電源入力端子
付属のAC電源ケーブルを使用し、ACコンセントに接続してください。

COM 端子
CH1～CH8起動入力端子とメークする端子です。

端子カバー
外部電源接続時には、ショート防止のために、カバーを取り付けてください。

通信コネクター
専用機器（DT-1800）に接続します。
MZ-1143を複数台接続する際は、もう一方のコネクターのカバーを外して接続してください。
本機の通信コネクターは、弊社指定の専用機器を接続して下さい。それ以外の機器は、接続しないで下さい。故障させる要因となることがあります。

アース端子
このアース端子は他の音響機器を接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アース（接地用）ではありません。

ライン出力ジャック
（0dBV　600Ω　不平衡）
アンプのライン入力などに接続します。
このジャックを使用時にはライン出力端子を使用できません。

各チャンネルの優先順位について

●優先順位の高いチャンネルを再生しているときに、優先順位の低いチャンネルからの起動が発生した場合、優先順位の低いチャンネルからの起動は無視され、優先順位の高いチャンネルの再生を継続します。

例）チャンネル8を再生しているときに、チャンネル4の起動が発生した場合、チャンネル4の起動は無視され、チャンネル8の再生を継続します。

優先順位	チャンネル番号
1	チャンネル9（手動）
2	チャンネル8
3	チャンネル1～7、10～99（通信専用）

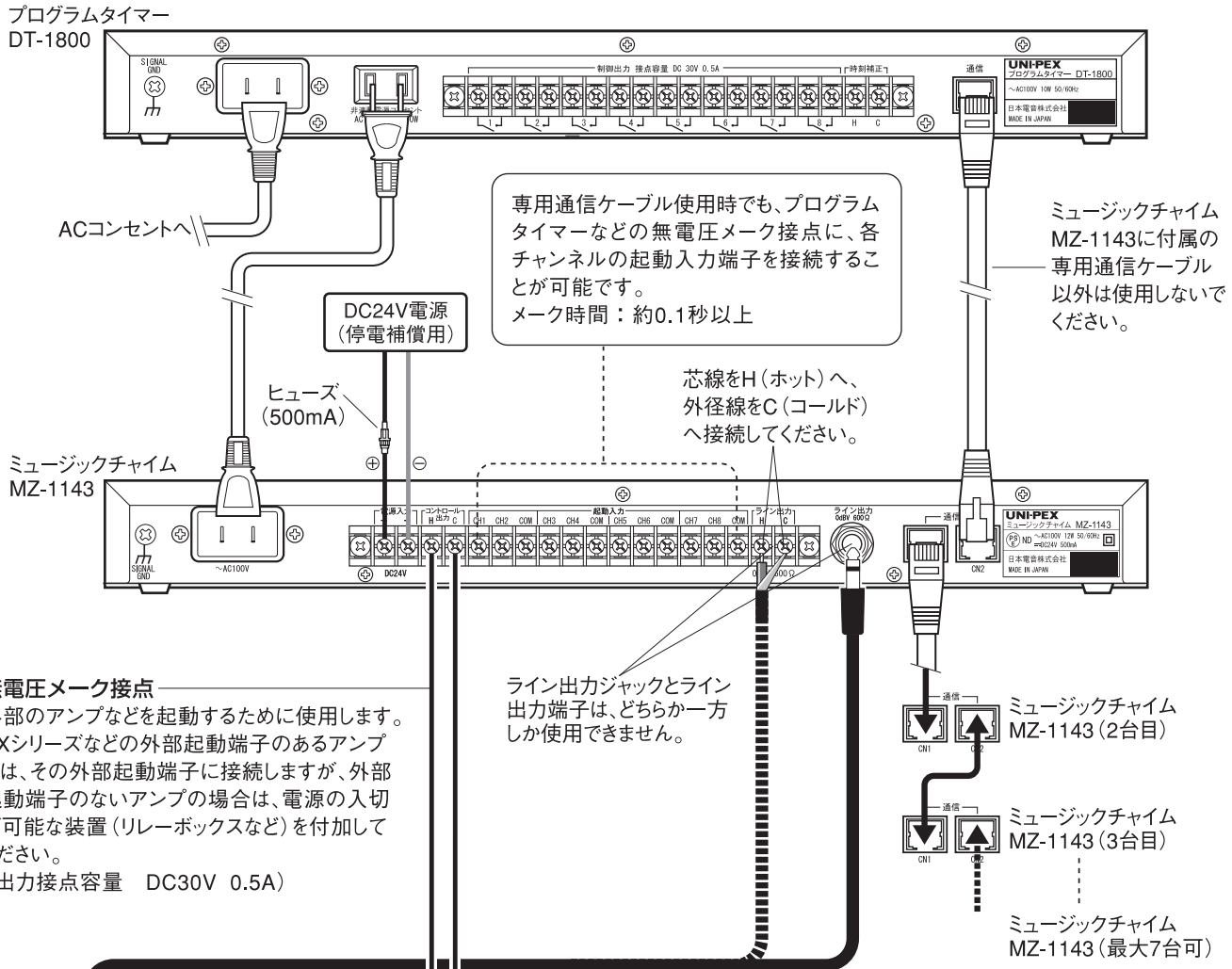
●チャンネルを再生しているときに、優先順位が同じチャンネルからの起動が発生した場合、後入力が優先されます。

例）チャンネル1を再生しているときに、チャンネル3の起動が発生した場合、チャンネル1の再生は停止し、チャンネル3の再生を開始します。

例）チャンネル1を再生しているときに、チャンネル1の起動が再度発生した場合は、チャンネル1を頭から再度再生開始します。

接続方法

■接続例①：専用通信ケーブル使用時

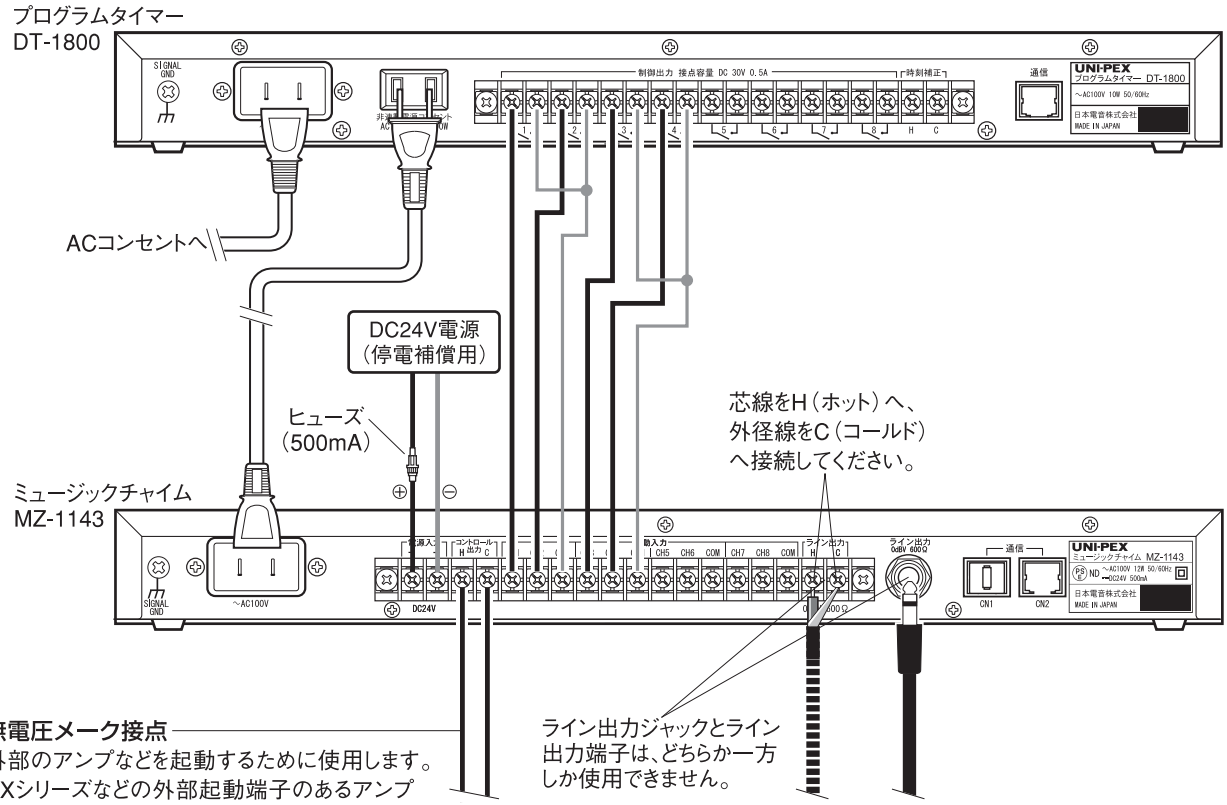


本機を接続するアンプは

●外部起動端子のある製品（弊社製品ではBXシリーズなど）
●電源に入／切が可能な装置を付加した製品

⚠警告 接続作業をおこなうときは、必ず本機および接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

■接続例②：起動入力端子使用時



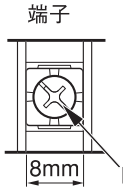
⚠警告　接続作業をおこなうときは、必ず本機および接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

結線方法

■線材の用意

●適合電線

端子名	電線の種類
コントロール出力 起動入力	600 Vビニール絶縁電線 ・単　線：φ0.9mm（AWG20）～φ1.2mm（AWG16） ・より線：0.3mm²（AWG22）～1.25mm²（AWG16）
音声出力	0.3mm²以上　1芯シールド線



お願い
より線を使用される場合は圧着端子のご使用をおすすめします。圧着端子は左記寸法を参考にしてご使用ください。

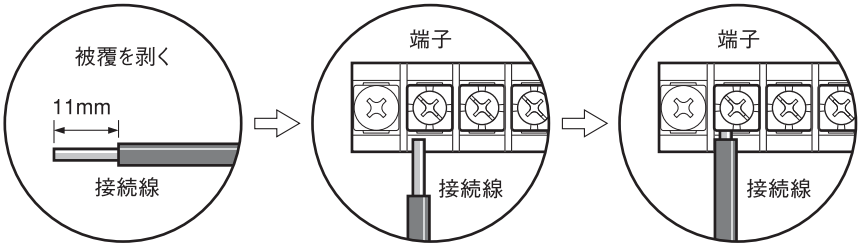
■接続線の加工

●各端子への接続

①接続線の被覆を剥く。
（芯線の長さ：約11mm）

②端子のねじをゆるめ接続線を座金の下に差し込む。

③接続線をねじで締め付ける。
（締め付けトルク：0.6N･m）



⚠警告
半田あげ線は絶対に使用しないでください。不完全接触により、火災の原因になります。

データ設定の種類と出荷時の設定

各チャンネルの設定

●各チャンネル（チャンネル1～8とチャンネル9（手動））には、以下の設定が可能です。
※DT-1800使用時は、通信専用チャンネル（CH10～99）を含めた、合計99チャンネルが使用可能になります。

●繰返回数……1回の起動で続けて再生する回数を1～15、および「∞」（エンドレス）に設定可能です。
●再生間隔……繰返回数で「∞」（エンドレス）を選択した場合、メッセージなどの再生終了後、次の再生開始までの待ち時間を0～60分の範囲で設定可能です。
●フレーズ数……各チャンネルに割り当てるフレーズの数を最大8つまで設定可能です。各フレーズには、それぞれ個別の設定が可能です。
●音源……内蔵音源とSD音源、および、無音を選択可能です。
●曲目……19曲の内蔵音源とユーザーがSDカード（別売）に収録したSD音源を設定可能です。
●再生速度……内蔵音源の再生速度を7段階（−3～標準～+3）に設定可能です（1部の曲を除く）。
●無音時間……音源設定で「無音」を選択した場合、無音時間を1～9秒に設定可能です。
●音量……フレーズごとに32段階で設定可能です。
※「テスト再生」で、設定されている音源と音量を再生して確認することができます。

本機全体の設定

●以下の設定は、MZ-1143全体の設定になります。

●遅延時間……起動してから再生が開始されるまでの時間を7段階（0～6秒）に設定可能です。
●機器番号……MZ-1143の機器番号を1～7まで設定可能です。

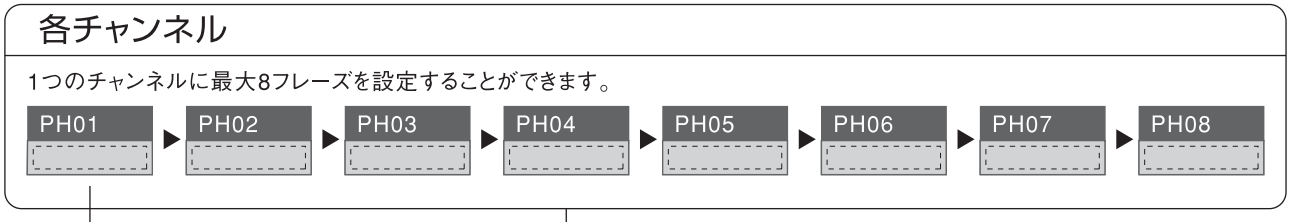
出荷時の設定

設定項目	繰返回数	再生間隔	フレーズ数	音源設定	曲　目	再生速度
出荷時設定	1回	0分	1	内蔵音源	―――	標準 0
設定範囲	1～15回、∞	0～60分	1～8	内蔵音源/ユーザー音源	19曲（内蔵音源）	±3段階

設定項目	無音時間	音　量	遅延時間	機器番号
出荷時設定	1秒	15（中）	0秒	1
設定範囲	1～9秒	0～32	0～6秒	1～7

フレーズについて

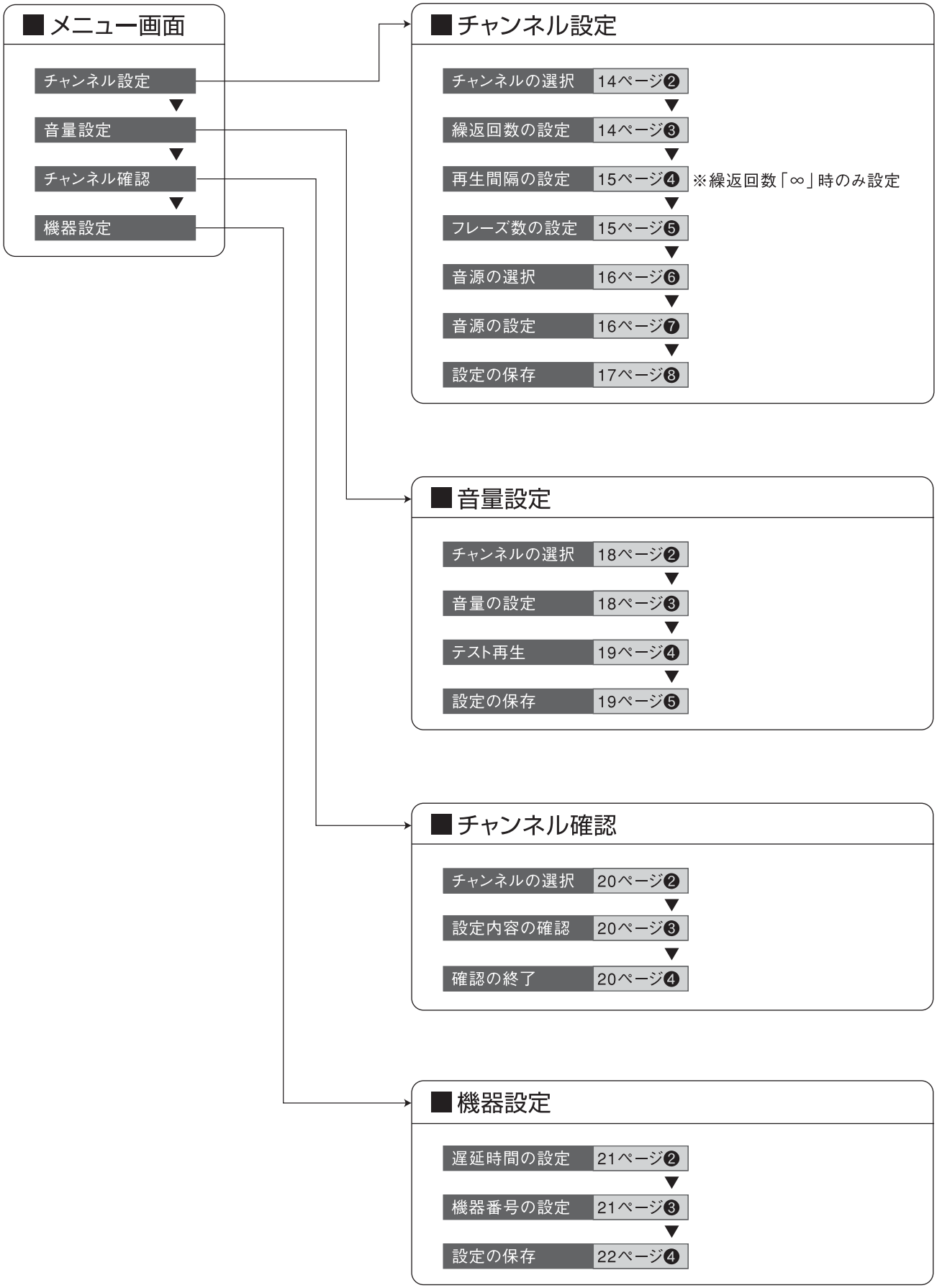
●チャンネルとフレーズの関係は下記のとおりです。



それぞれのフレーズに、個別に音源ファイルを設定することができます。
例）
PH01：内蔵音源「ウエストミンスターA」
PH02：無音「2秒」
PH03：SD音源「アナウンス用音源」
PH04：内蔵音源「ラジオ体操第一」
：

チャンネルを起動すると、設定されたフレーズが順番に自動再生されます。

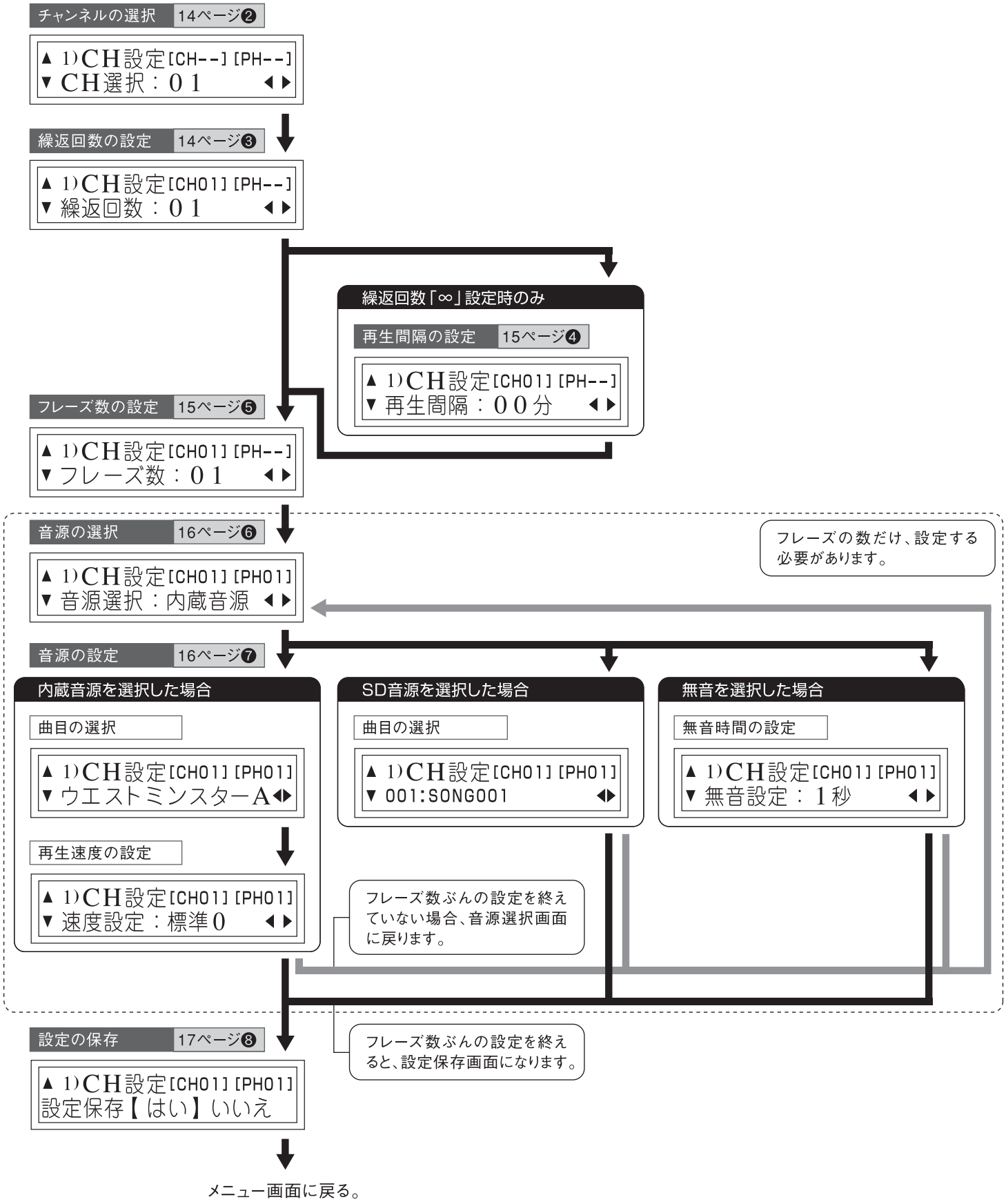
本機のメニュー構成


■ メニュー画面
チャンネル設定
音量設定
チャンネル確認
機器設定
■ チャンネル設定
チャンネルの選択 14ページ❷
繰返回数の設定 14ページ❸
再生間隔の設定 15ページ❹
※繰返回数「∞」時のみ設定
フレーズ数の設定 15ページ❺
音源の選択 16ページ❻
音源の設定 16ページ❼
設定の保存 17ページ❽
■ 音量設定
チャンネルの選択 18ページ❷
音量の設定 18ページ❸
テスト再生 19ページ❹
設定の保存 19ページ❺
■ チャンネル確認
チャンネルの選択 20ページ❷
設定内容の確認 20ページ❸
確認の終了 20ページ❹
■ 機器設定
遅延時間の設定 21ページ❷
機器番号の設定 21ページ❸
設定の保存 22ページ❹

設定手順の概要

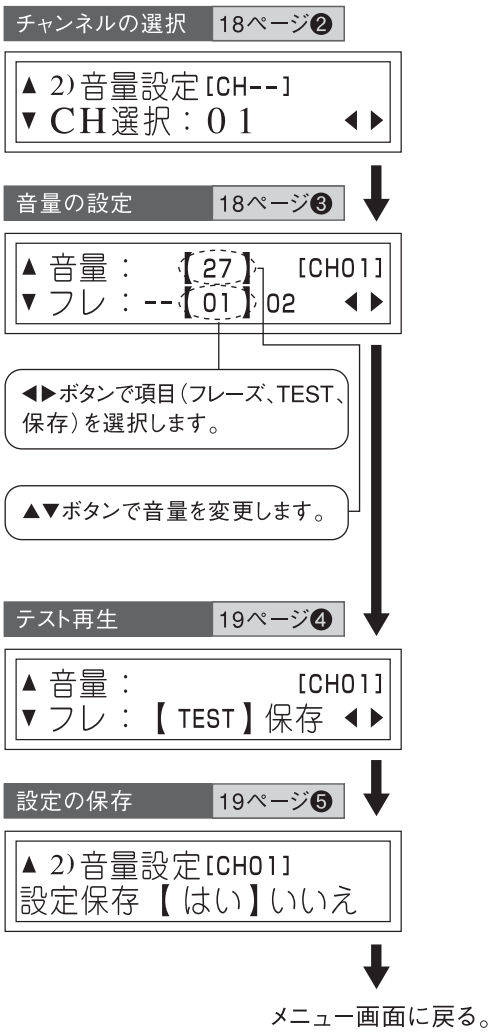
■チャンネル設定

◀▶ボタンで選択・設定、【決定】ボタンまたは▼ボタンで次画面、▲ボタンで前画面、【取消】ボタンでメニュー画面へ。



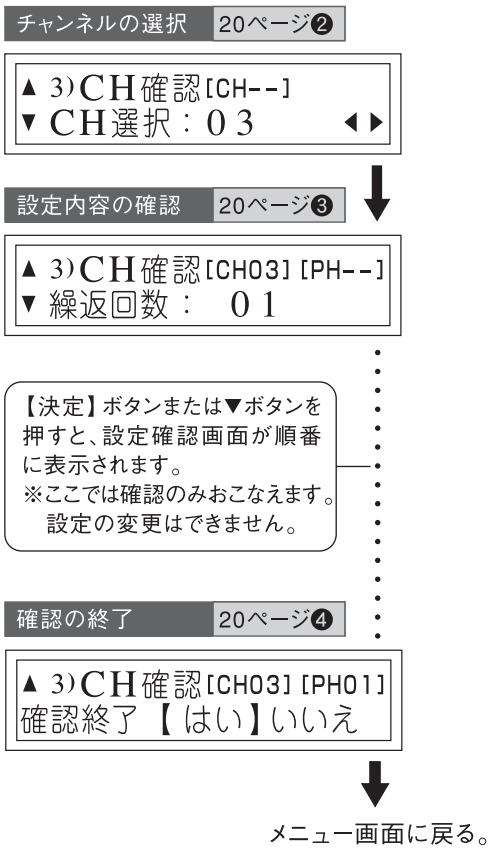
■音量設定

◀▶ボタンで選択、▲▼ボタンで音量設定、
【決定】ボタンで次画面、【取消】ボタンでメニュー画面へ。



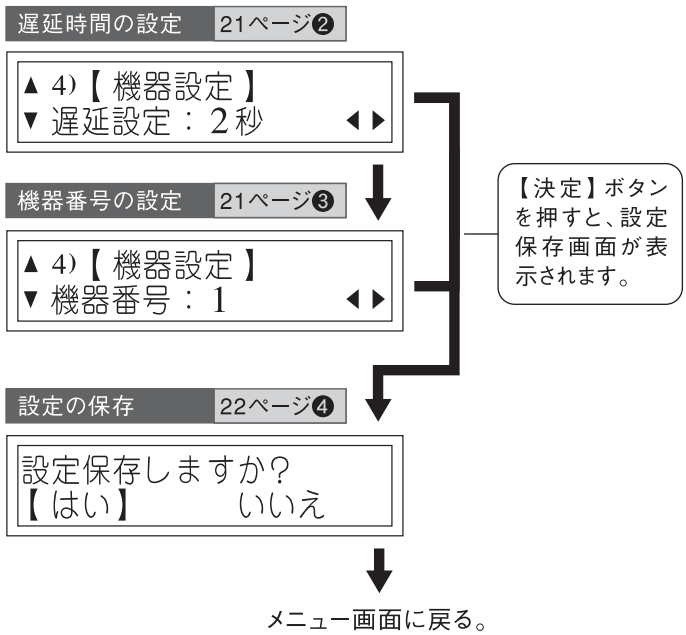
■チャンネル確認

◀▶ボタンで選択、【決定】ボタンまたは▼ボタンで次画面、
▲ボタンで前画面、【取消】ボタンでメニュー画面へ。



■機器設定

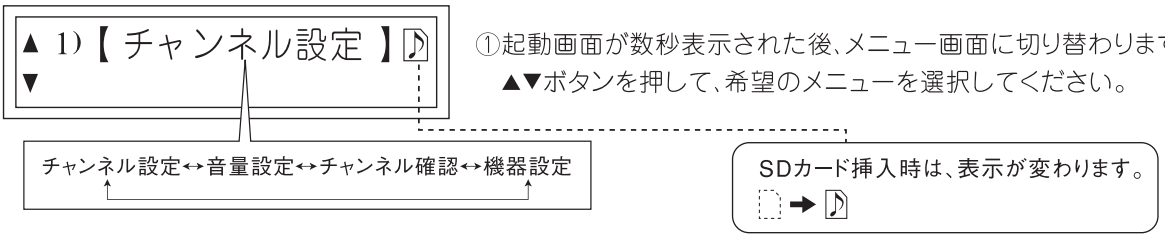
◀▶ボタンで設定値変更、▲▼ボタンで画面変更、
【決定】ボタンで保存画面、【取消】ボタンでメニュー画面へ。



メニューの選択

●本機に電源スイッチはありません。電源を接続し通電すると、メニュー画面が表示されます。

❶電源の投入→メニューの選択



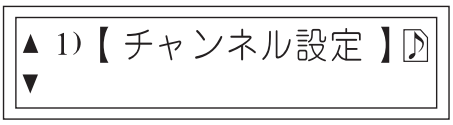
①起動画面が数秒表示された後、メニュー画面に切り替わります。
▲▼ボタンを押して、希望のメニューを選択してください。

1)チャンネル設定……14ページへ　2)音量設定……18ページへ
3)チャンネル確認……20ページへ　4)機器設定……21ページへ

チャンネル設定（再生内容の設定）

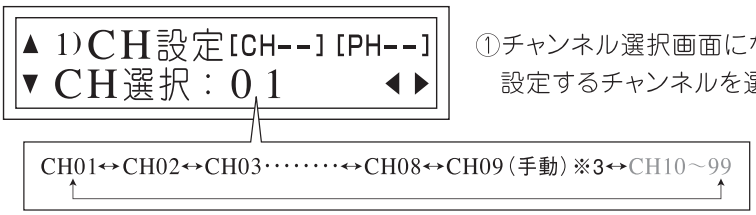
●各チャンネルの再生内容の設定は、下記の手順でおこないます。
●画面が消灯した場合、取消ボタンを押して再点灯させ、❶から再度設定をおこなってください。

❶【チャンネル設定】を選択



①メニュー画面で▲▼ボタンを押して、1)【チャンネル設定】を選択し、【決定】ボタンを押してください。

❷チャンネルの選択

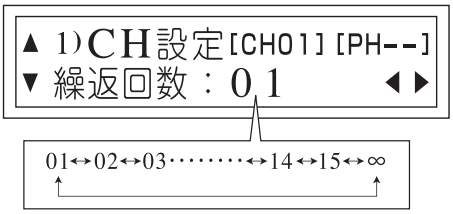


①チャンネル選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して、再生内容を設定するチャンネルを選択してください。

※3
CH9(手動)に設定された曲は、手動ボタンでワンプッシュ起動します。

②選択ができたら、【決定】ボタンまたは▼ボタンを押してください。

❸繰返回数の設定

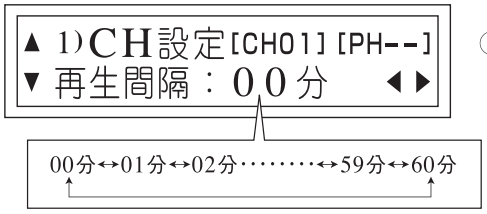


①繰返回数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して、繰返回数を「1～15、∞」の範囲で設定してください。

②設定ができたら、【決定】ボタンまたは▼ボタンを押してください。

a)繰返回数:1～15の時 ❺「フレーズ数の設定」へ
b)繰返回数:∞の時 ❹「再生間隔の設定」画面へ

❹再生間隔の設定（繰返回数:∞の時のみ）

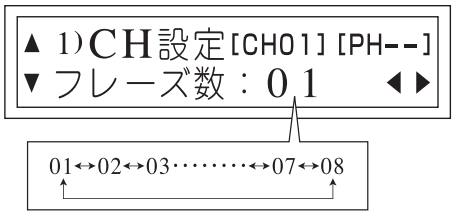


①再生間隔設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して、再生間隔を「0～60分」の範囲で設定してください。

例)
a)BGM再生の場合
再生間隔を「0分」にするとエンドレス再生となりますので、BGM再生などには「0分」に設定にしてください。
b)案内放送再生の場合
再生間隔を「1～60分」にすると、インターバル再生となりますので、一定間隔ごとに同一アナウンスを繰り返し流すような目的には、「1～60分」の範囲で設定してください。

②設定ができたら、【決定】ボタンまたは▼ボタンを押してください。

❺フレーズ数の設定



①フレーズ数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して、フレーズ数を「1～8」の範囲で設定してください。フレーズ数分の音源を、連続で再生する事ができます。

補足)
複数の音源を連続して再生しない場合は、フレーズ数は「1」にします。

②設定ができたら、【決定】ボタンまたは▼ボタンを押してください。

チャンネル設定（再生内容の設定）

❻音源の選択

❻「音源の選択」と❼「音源の設定」は、フレーズ数ぶんおこないます。

①音源選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して、音源を選択してください。

※4 SDカードが挿入されている時のみ、表示されます。

②選択ができたら、【決定】ボタンまたは▼ボタンを押してください。

❼音源の設定

内蔵音源を選択した場合

①曲目選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して、フレーズに設定する曲を選択してください（「未設定」の状態では、次の画面に進むことができません）。

5ページの内蔵音源表をご覧ください。

※5「停止」は曲目ではありません。再生中の曲を停止させる設定になります。停止はフレーズ数、および繰返回数が1回の時のみ、表示されます。

ヒント! チャンネル番号で「9」（手動）、曲目で「停止」を設定することにより、再生中の曲は、【手動】ボタンを押すだけで停止します。

②選択ができたら、【決定】ボタンまたは▼ボタンを押してください。

③再生速度設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して、再生速度を「遅い3～標準0～早い3」の範囲で設定してください。

補足)

内蔵音源の一部は、設定できる範囲が異なります。詳しくは5ページの内蔵音源表をご覧ください。

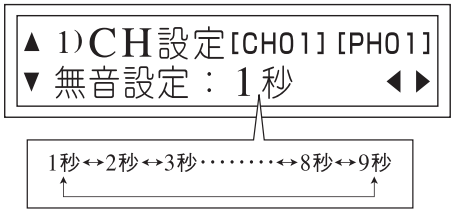
④設定ができたら、【決定】ボタンまたは▼ボタンを押してください。

SD音源を選択した場合

①曲目選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して、フレーズに設定する曲を選択してください（「未設定」の状態では、次の画面に進むことができません）。

②選択ができたら、【決定】ボタンまたは▼ボタンを押してください。

無音を選択した場合



①無音設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して、無音時間を「1～9秒」の範囲で設定してください。

②選択ができたら、【決定】ボタンまたは▼ボタンを押してください。

⑧設定の保存

①設定保存画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して、【はい】を選択してください。

②選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。
※保存しない場合は、【いいえ】が選択された状態で【決定】ボタンを押してください。

⬇

メニュー画面に戻る。

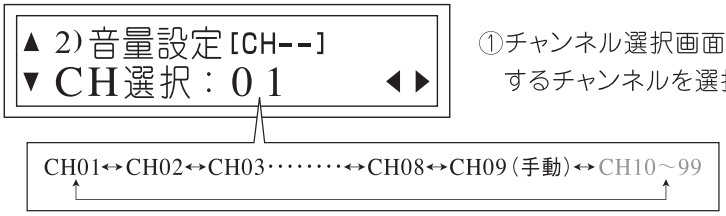
音量設定

●各チャンネルの音量の設定は、下記の手順でおこないます。

❶2)【音量設定】を選択

①メニュー画面で▲▼ボタンを押して、2)【音量設定】を選択し、【決定】ボタンを押してください。

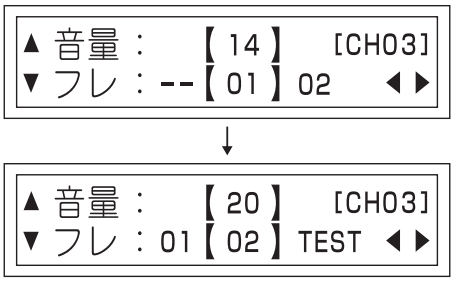
❷チャンネルの選択



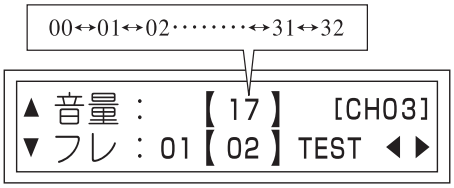
①チャンネル選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して、音量を設定するチャンネルを選択してください。

②選択ができたら、【決定】ボタンまたは▼ボタンを押してください。

❸音量の設定



①フレーズ番号、および再生テスト･保存の切換えは、◀▶ボタンでおこないます。◀▶ボタンを押して、音量を設定したいフレーズを選択してください。



②▲▼ボタンを押して、音量を「00～32」の範囲で設定してください。音量は、各フレーズごとに設定することができます。

❹テスト再生

①◀▶ボタンを押して【TEST】項目を選択し、【決定】ボタンを押してください。

②設定した音量で、テスト再生がおこなわれます。
テスト再生は、そのチャンネルに設定されている繰返回数ぶんおこなわれますが、「∞」に設定されている場合、テスト再生時の繰返回数は1回となります。

③テスト再生を途中で止める場合は、【取消】ボタンを押してください。

❺設定の保存

①◀▶ボタンを押して【保存】項目を選択し、【決定】ボタンを押してください。

②設定保存画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して、【はい】を選択してください。

③選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。
※保存しない場合は、【いいえ】が選択された状態で【決定】ボタンを押してください。

メニュー画面に戻る。

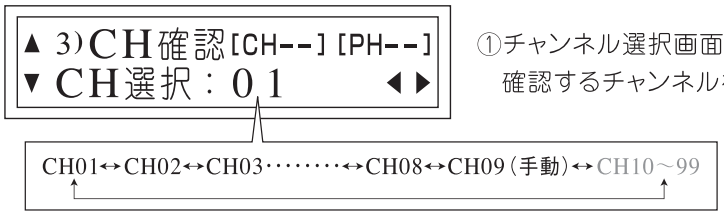
チャンネル確認

●各チャンネルの設定内容の確認は、下記の手順でおこないます。

❶ 3)【チャンネル確認】を選択

①メニュー画面で▲▼ボタンを押して、3)【チャンネル確認】を選択し、【決定】ボタンを押してください。

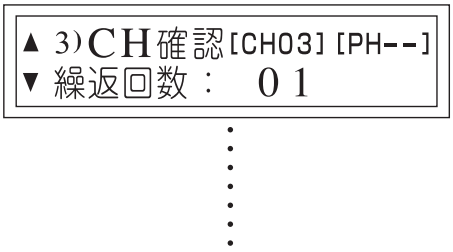
❷チャンネルの選択



①チャンネル選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して、設定内容を確認するチャンネルを選択してください。

②選択ができたら、【決定】ボタンまたは▼ボタンを押してください。

❸設定内容の確認



①設定確認画面になったことを確認してください。【決定】ボタンまたは▼ボタンを押すと、設定した項目が順番に表示されます。
※ここでは確認のみおこなえます。設定の変更はできません。

❹確認の終了

①確認終了画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して、【はい】を選択してください。

②選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。
※確認を終了しない場合は、【いいえ】が選択された状態で【決定】ボタンを押してください。前画面に戻ります。

メニュー画面に戻る。

機器設定

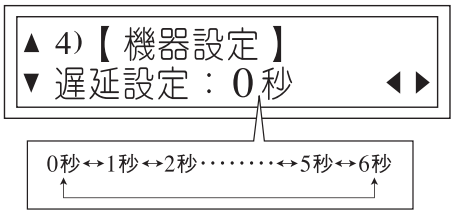
●本機の機器設定は、下記の手順でおこないます。

※DT-1800を用いて、専用通信ケーブルにて制御を行うときは、必ず❸「機器番号の設定」をおこなってください。

❶ 4)【機器設定】を選択

①メニュー画面で▲▼ボタンを押して、4)【機器設定】を選択し、【決定】ボタンを押してください。

❷遅延時間の設定



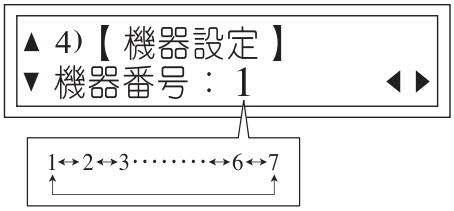
①遅延設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して遅延時間（起動してから再生が開始されるまでの時間）を「0～6秒」の範囲で設定してください。

②続いて機器番号を設定する場合は、▼ボタンを押してください。
遅延時間の設定を保存し機器設定を終了する場合は、【決定】ボタンを押してください。

a)機器番号を設定する場合　❸「機器番号の設定」へ

b)遅延時間の設定を保存し機器設定を終了する場合　❹「設定の保存」へ

❸機器番号の設定



①機器番号設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して機器番号「1～7」の範囲で設定してください。

ご注意

複数台のミュージックチャイムをDT-1800に接続する場合、機器番号は1番から順に、空き番号を作らないように設定してください。空き番号や重複する番号があった場合、誤動作の原因となります。

例）3台接続の場合

1台目：機器番号・・・1番

2台目：機器番号・・・2番

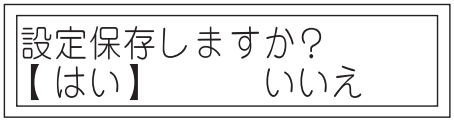
3台目：機器番号・・・3番

機器設定

②設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❹設定の保存

①設定保存画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して、【はい】を選択してください。



②選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。
※保存しない場合は、【いいえ】が選択された状態で【決定】ボタンを押してください。

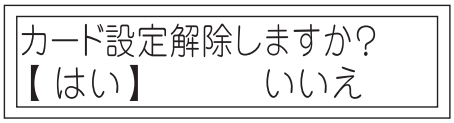
⬇

メニュー画面に戻る。

SD音源のカードを抜いたときの表示について

●SDカードを抜いたときには、本機のカード設定を解除するかどうか、選択してください。

①SDカードを抜くと、カード設定解除画面に切り替わります。本機のSD音源のカード設定を解除するか、しないかを、◀▶ボタンで選択してください。



②選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

a)【はい】を選んだ場合

本機に登録されたSD音源の設定内容が消去されます。

※SDカードの音源は消去されません。

b)【いいえ】を選んだ場合

本機に登録されたSD音源の設定内容が維持されます。カードを一旦抜いても、再挿入すれば、抜く前の設定内容で再生が可能です。

※SDカードの音源が本機にコピーされるわけではありません。再生する際は、SDカードを再挿入してください。

ご注意

本機の外部SD音源はファイル名ではなく、SDカードに書き込まれた順番に付与されるファイル番号で管理しています。SDカードを取り出して削除や上書き、ファイル名変更などを行いますとファイル番号が変更される場合があり、意図した曲が再生されない（曲順がずれる）場合があります。その際は再設定を行ってください。

お願い

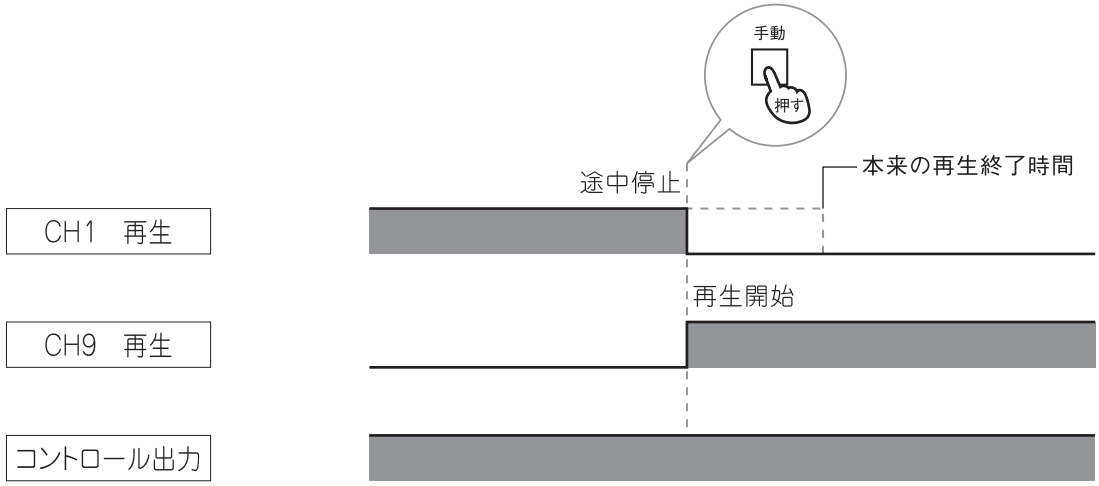
カードの音源を本機に設定されていない場合でも同じ内容のメッセージが表示されます。
その場合は【はい】【いいえ】のどちらでも結構ですので、いずれかを選択して【決定】ボタンを押してください。

チャンネル9（手動）の設定について

●チャンネル9は、【手動】ボタンを押すと起動します。
チャンネル9は優先順位が最も高いので、他チャンネルの再生中に【手動】ボタンを押すと、他チャンネルの再生は途中停止し、チャンネル9が起動します。

再生を設定した場合

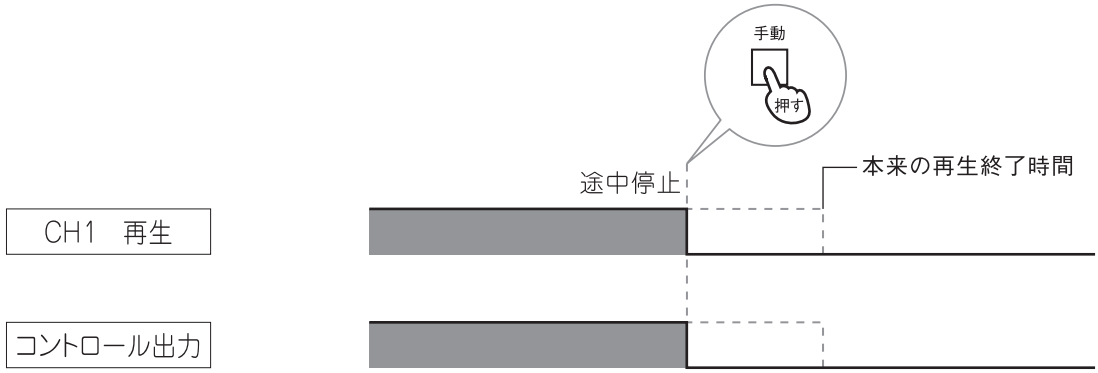
【手動】ボタンを押すと、再生中のチャンネルは途中停止し、チャンネル9に設定した曲の再生が始まります。



チャンネル9を途中停止させる場合
チャンネル9は最も優先順位が高いので、他チャンネルの起動で再生を途中停止させることができません。
チャンネル9を途中停止させる場合は、【取消】ボタンを押してください。
※【取消】ボタンの操作については、24ページをご確認ください。

停止を設定した場合

【手動】ボタンを押すと、再生中のチャンネルは途中停止します。



再生を途中停止する方法

●再生中のチャンネルを途中停止する方法は、2種類あります。
※チャンネルの再生は、設定した繰返回数ぶん再生されたあと停止しますが、繰返回数に「∞」を設定している場合、以下のいずれかの方法で停止操作をおこなわなければ、停止しません。

方法1)「停止」を設定したチャンネルを起動する

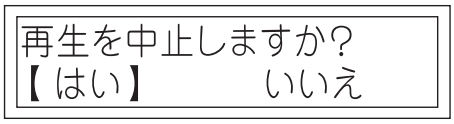
「停止」を設定したチャンネルを起動することで、再生中のチャンネルを途中停止することができます。
※「停止」を設定したチャンネルよりも再生中のチャンネルの方が優先順位が高い場合、停止することができません。
（優先順位については、7ページをご確認ください。）

ヒント! 再生を途中停止する必要がある場合、再生をチャンネル1～7に設定し、「停止」はチャンネル8かチャンネル9（手動）に設定するのが良いでしょう。タイマーで停止する場合はチャンネル8に、【手動】ボタンで停止する場合はチャンネル9（手動）に「停止」を設定してください。

方法2)【取消】ボタンを押す

【取消】ボタンを押すと、優先順位に関係なく、再生中のチャンネルを途中停止することができます。
※最も優先順位の高いチャンネル9（手動）は、この方法でしか途中停止することができません。

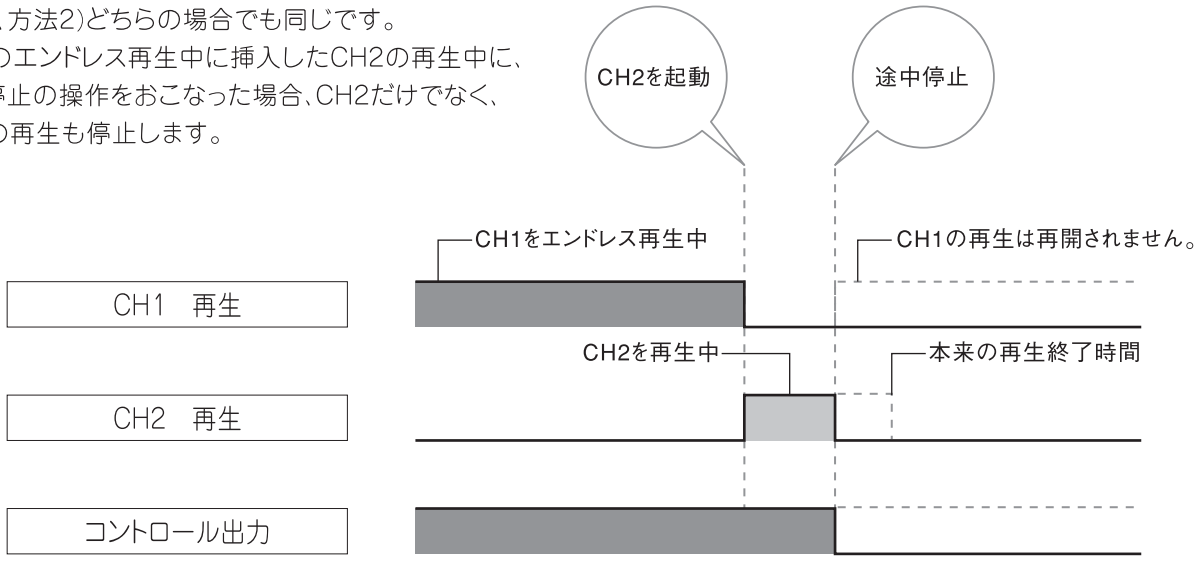
①再生途中に【取消】ボタンを押してください。



②再生中止画面に切り替わりますので、【はい】が選択された状態で、【決定】ボタンを押してください。再生が停止します。
※再生を続行する場合は、【いいえ】を選択し、【決定】ボタンを押してください。

途中停止した場合の注意点

途中停止した場合、全てのチャンネルの再生が停止します。
※方法1)、方法2)どちらの場合でも同じです。
例）CH1のエンドレス再生中に挿入したCH2の再生中に、途中停止の操作をおこなった場合、CH2だけでなく、CH1の再生も停止します。



具体的な使用例1

使用例1 決まった時刻にチャイム音源を鳴らす。

タイマー（別売）を使用すれば、タイマー側で設定した時刻に、本機のチャンネルを起動できます。
※チャンネル9（手動）はタイマー側から起動できません。タイマー側から起動する場合は、チャンネル9以外のチャンネルに音源を設定してください。

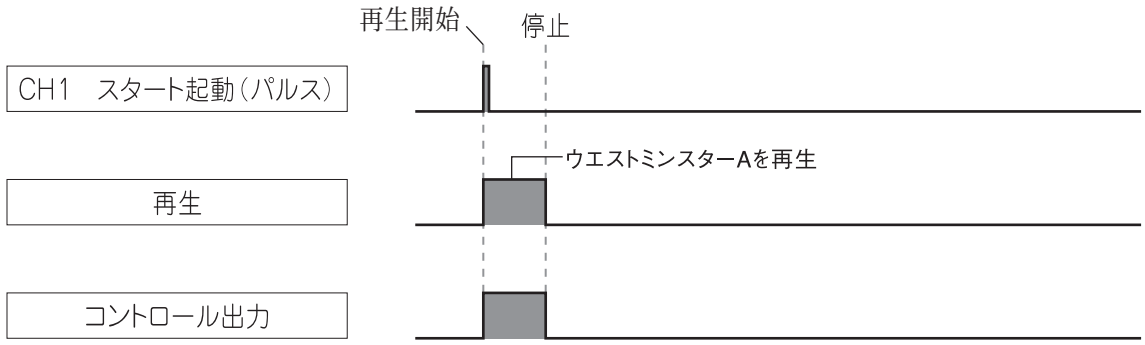
設定例

■チャンネル設定（設定方法はP26～27参照）

チャイム用チャンネルの設定	
CH選択	1
繰返回数	1
フレーズ数	1
音源選択	内蔵音源
曲目選択	ウエストミンスターA
再生速度	標準0

■動作図

※再生開始は、タイマー（別売）側で設定。再生終了後、自動停止。



具体的な使用例1

■チャンネル設定手順

チャイム用チャンネルの設定

❶【チャンネル設定】の選択

●メニュー画面で、1)【チャンネル設定】が選択されていることを確認してください。選択されていない場合は、▲▼ボタンを押して1)【チャンネル設定】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❷チャンネルの選択

●チャンネル選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してCH「01」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❸繰返回数の設定

●繰返回数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して繰返回数を「01」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❹フレーズ数の設定

●フレーズ数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してフレーズ数を「01」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❺音源の選択

●音源選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「内蔵音源」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❻音源の設定（曲目の選択と再生速度の設定）

●曲目選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「ウエストミンスターA」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

●再生速度設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して速度設定を「標準0」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❼設定の保存

●設定保存画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して【はい】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

以上で、チャンネル1にチャイム用音源が設定されました。メニュー画面に戻ります。

具体的な使用例2

使用例2 ウエストミンスターA→無音（2秒）→ラジオ体操第一の順番で再生する。

フレーズ再生機能によって、複数の音源を連続して自動再生できます。1つのチャンネルに複数の音源を設定しておけば、そのチャンネルを起動することで、設定した複数の音源が、連続して自動再生されます。

設定例

■チャンネル設定（設定方法はP29～30参照）

再生用チャンネルの設定	
CH選択	1
繰返回数	1
フレーズ数	3
音源選択	内蔵音源
曲目選択	ウェストミンスターA
再生速度	標準0
音源選択	無音
無音設定	2秒
音源選択	内蔵音源
曲目選択	ラジオ体操第一
再生速度	標準0

フレーズ数：連続して自動再生したい音源の数（今回は「3」）を設定します。

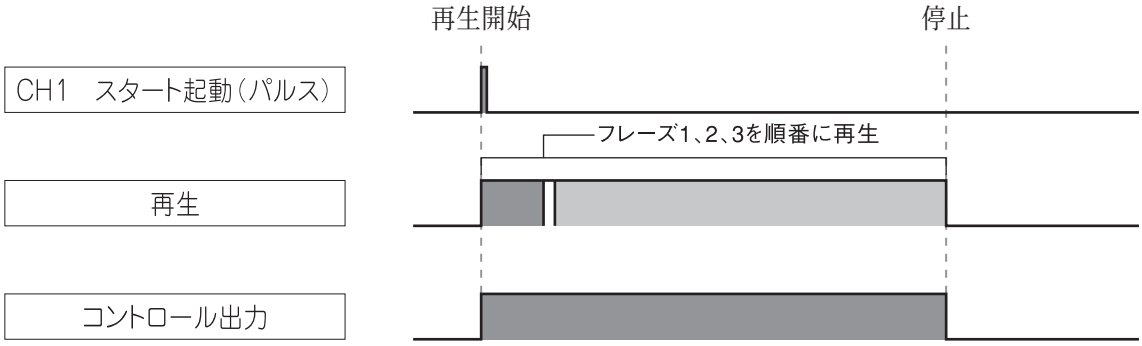
音源選択～再生速度：フレーズ1の設定

音源選択～無音設定：フレーズ2の設定

音源選択～再生速度：フレーズ3の設定

■動作図

※再生開始は、タイマー（別売）側で設定。再生終了後、自動停止。



■チャンネル設定手順

再生用チャンネルの設定

❶【チャンネル設定】の選択

●メニュー画面で、1)【チャンネル設定】が選択されていることを確認してください。選択されていない場合は、▲▼ボタンを押して1)【チャンネル設定】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❷チャンネルの選択

●チャンネル選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してCH「01」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❸繰返回数の設定

●繰返回数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して繰返回数を「01」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❹フレーズ数の設定

●フレーズ数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してフレーズ数を「03」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❺音源の選択（フレーズ1）

●音源選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「内蔵音源」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❻音源の設定（曲目の選択と再生速度の設定）

●曲目選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「ウエストミンスターA」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

具体的な使用例2

●再生速度設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して速度設定を「標準0」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❼音源の選択（フレーズ2）

●音源選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「無音」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❽音源の設定（無音時間の設定）

●無音設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して無音設定を「2秒」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❺音源の選択（フレーズ3）

●音源選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「内蔵音源」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❻音源の設定（曲目の選択と再生速度の設定）

●曲目選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「ラジオ体操」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

●再生速度設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して速度設定を「標準0」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❼設定の保存

●設定保存画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して【はい】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

⬇

以上で、チャンネル1にフレーズ再生が設定されました。メニュー画面に戻ります。

具体的な使用例3

使用例3 音源をエンドレス再生し、BGM用途に使用する。

チャンネルの繰返回数を「∞」に設定してください。エンドレス再生機能によって、そのチャンネルに設定された音源を無限に繰返して再生することができます。
エンドレス再生を停止するには、再生中のチャンネルよりも優先順位の高いチャンネルに「停止」を設定し、再生中に起動してください。※優先順位については、7ページをご確認ください。

設定例

■チャンネル設定（設定方法はP32～34参照）

BGM用チャンネルの設定	
CH選択	1
繰返回数	∞
再生間隔	0分
フレーズ数	1
音源選択	SD音源
曲目選択	BGM音源

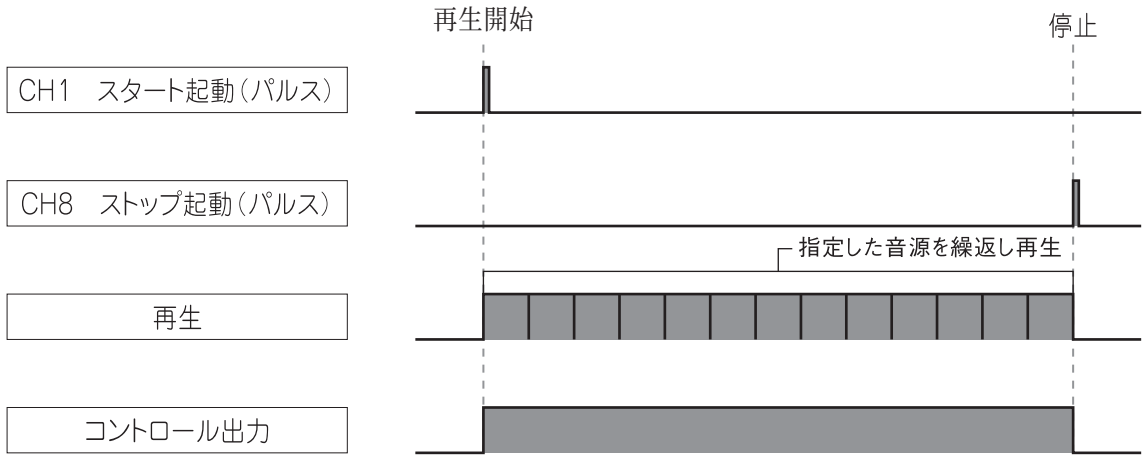
CH選択：優先順位の低いチャンネル（CH1～7）の中から選択してください。
繰返回数：「∞」に設定することで、エンドレス再生になります。

停止用チャンネルの設定	
CH選択	8
繰返回数	1
フレーズ数	1
音源選択	内蔵音源
曲目選択	停止
再生速度	ーーー

CH選択：優先順位の高いチャンネル（CH8）を選択してください。
繰返回数／フレーズ数：フレーズに「停止」を設定する場合、「1」に設定してください。「1」以外に設定した場合、フレーズ選択で「停止」が表示されず、選択することができません。
曲目選択：再生を停止するために、「停止」に設定します。
再生速度：「停止」の場合、再生速度は設定できません。

■動作図

※再生開始と停止は、タイマー（別売）側で設定。

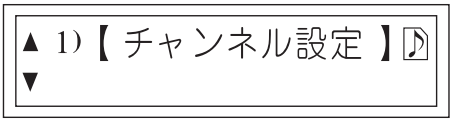


具体的な使用例3

■チャンネル設定手順

BGM用チャンネルの設定

❶【チャンネル設定】の選択



●メニュー画面で、1)【チャンネル設定】が選択されていることを確認してください。選択されていない場合は、▲▼ボタンを押して1)【チャンネル設定】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❷チャンネルの選択

●チャンネル選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してCH「01」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❸繰返回数と再生間隔の設定

●繰返回数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して繰返回数を「∞」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

●再生間隔設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して再生間隔を「00分」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❹フレーズ数の設定

●フレーズ数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してフレーズ数を「01」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❺音源の選択

●音源選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「SD音源」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❻音源の設定（曲目の選択）

●曲目選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して任意の曲を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❼設定の保存

●設定保存画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して【はい】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

以上で、チャンネル1にBGM用音源のエンドレス再生が設定されました。メニュー画面に戻ります。

停止用チャンネルの設定

❶【チャンネル設定】の選択

●メニュー画面で、1)【チャンネル設定】が選択されていることを確認してください。選択されていない場合は、▲▼ボタンを押して1)【チャンネル設定】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❷チャンネルの選択

●チャンネル選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してCH「08」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❸繰返回数の設定

●繰返回数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して繰返回数を「1」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

具体的な使用例3

❹フレーズ数の設定

●フレーズ数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してフレーズ数を「01」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❺音源の選択

●音源選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「内蔵音源」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❻音源の設定（停止の選択）

●曲目選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「停止」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

●再生速度設定画面になったことを確認し、【決定】ボタンを押してください。
※「停止」の場合、速度設定はおこないません。

❼設定の保存

●設定保存画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して【はい】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

⬇

以上で、チャンネル8に停止が設定されました。メニュー画面に戻ります。

具体的な使用例4

使用例4 一定間隔でおこなわれる案内放送に使用する。

チャンネルの繰返回数を「∞」に設定し、更に再生間隔を設定してください。インターバル再生機能によって、そのチャンネルの音源を、一定の間隔を空けながら、無限に繰返し再生することができます。
インターバル再生を停止するには、再生中のチャンネルよりも優先順位の高いチャンネルに「停止」を設定し、再生中に起動してください（エンドレス再生の停止と同じ）。※優先順位については、7ページをご確認ください。

設定例

■チャンネル設定（設定方法はP36～38参照）

案内放送用チャンネルの設定	
CH選択	1
繰返回数	∞
再生間隔	10分
フレーズ数	1
音源選択	SD音源
曲目選択	案内放送音源

優先順位の低いチャンネル（CH1～7）の中から選択してください。

繰返回数を「∞」に設定し、更に再生間隔を設定することで、インターバル再生になります。

停止用チャンネルの設定	
CH選択	8
繰返回数	1
フレーズ数	1
音源選択	内蔵音源
曲目選択	停止
再生速度	ーーー

優先順位の高いチャンネル（CH8）を選択してください。

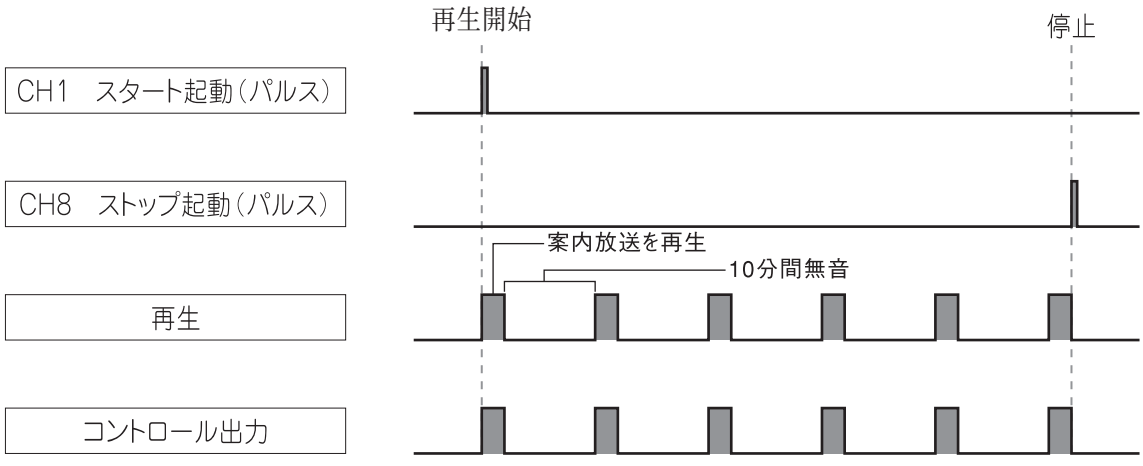
フレーズに「停止」を設定する場合、「1」に設定してください。
「1」以外に設定した場合、フレーズ選択で「停止」が表示されず、選択することができません。

再生を停止するために、「停止」に設定します。

「停止」の場合、再生速度は設定しません。

■動作図

※再生開始と停止は、タイマー（別売）側で設定。



具体的な使用例4

■チャンネル設定手順

案内放送用チャンネルの設定

❶【チャンネル設定】の選択

●メニュー画面で、1)【チャンネル設定】が選択されていることを確認してください。選択されていない場合は、▲▼ボタンを押して1)【チャンネル設定】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❷チャンネルの選択

●チャンネル選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してCH「01」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❸繰返回数と再生間隔の設定

●繰返回数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して繰返回数を「∞」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

●再生間隔設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して再生間隔を「10分」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❹フレーズ数の設定

●フレーズ数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してフレーズ数を「01」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❺音源の選択

●音源選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「SD音源」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❻音源の設定（曲目の選択）

●曲目選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して任意の案内放送用音源を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❼設定の保存

●設定保存画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して【はい】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

以上で、チャンネル1に案内放送用音源のインターバル再生が設定されました。メニュー画面に戻ります。

停止用チャンネルの設定

❶【チャンネル設定】の選択

●メニュー画面で、1)【チャンネル設定】が選択されていることを確認してください。選択されていない場合は、▲▼ボタンを押して1)【チャンネル設定】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❷チャンネルの選択

●チャンネル選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してCH「08」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❸繰返回数の設定

●繰返回数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して繰返回数を「1」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❹フレーズ数の設定

●フレーズ数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してフレーズ数を「01」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❺音源の選択

●音源選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「内蔵音源」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❻音源の設定（停止の選択）

●曲目選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「停止」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

●再生速度設定画面になったことを確認し、【決定】ボタンを押してください。
※「停止」の場合、速度設定はおこないません。

❼設定の保存

●設定保存画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して【はい】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

⬇

以上で、チャンネル8に停止が設定されました。メニュー画面に戻ります。

具体的な使用例5

使用例5 BGMのエンドレス再生中に、案内放送をおこなう。

チャンネル（BGM音源を設定）をエンドレス再生中に、別チャンネル（案内放送を設定）を起動すれば、BGMを中断し、案内放送を挿入できます。案内放送後、BGMは自動で曲頭から再生されます。
※複数のフレーズが設定されている場合、1フレーズ目の曲頭から再生されます。
両チャンネルより優先順位の高いチャンネルに「停止」を設定し、起動することで、BGM、案内放送の両方を停止できます。

設定例

■チャンネル設定（設定方法はP41～45参照）

BGM用チャンネルの設定		
CH選択	1	優先順位の低いチャンネル（CH1～7）の中から選択してください。
繰返回数	∞	「∞」に設定することで、エンドレス再生になります。
再生間隔	0分	
フレーズ数	1	
音源選択	SD音源	
曲目選択	BGM音源	

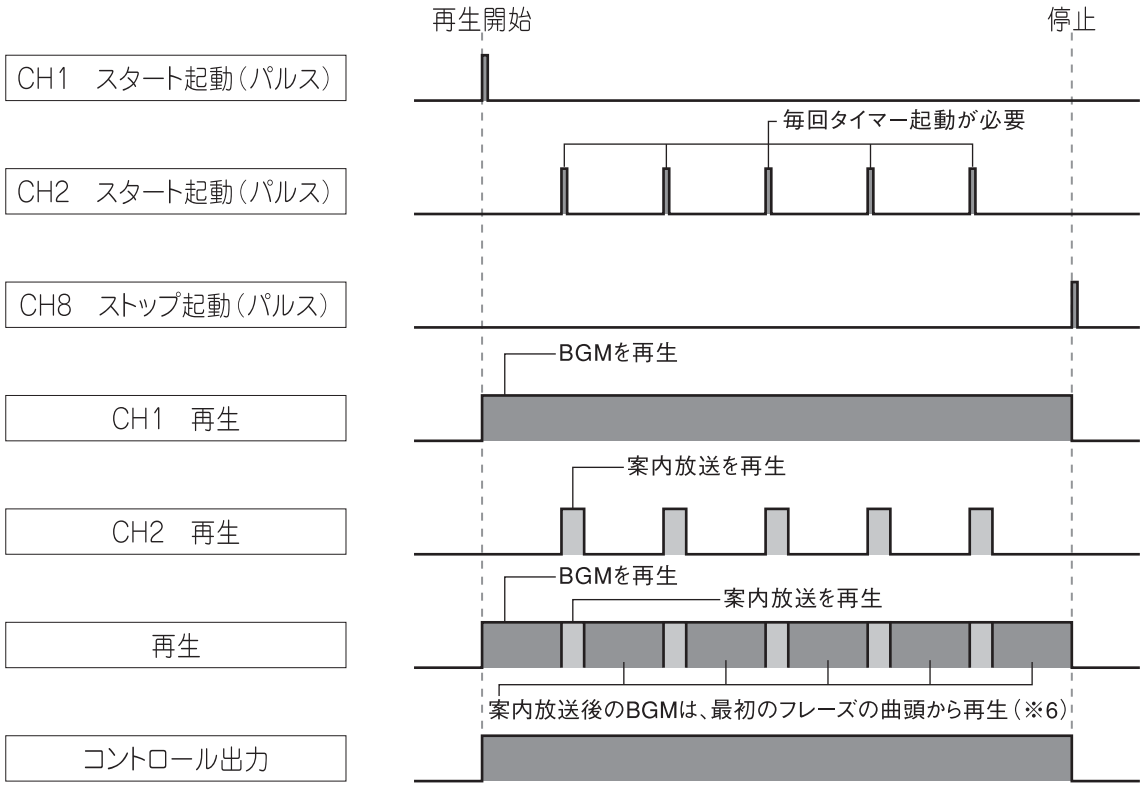
案内放送用チャンネルの設定		
CH選択	2	優先順位の低いチャンネル（CH2～7）の中から選択してください。
繰返回数	1	
フレーズ数	1	
音源選択	SD音源	
曲目選択	案内放送音源	

停止用チャンネルの設定		
CH選択	8	優先順位の高いチャンネル（CH8）を選択してください。
繰返回数	1	フレーズに「停止」を設定する場合、「1」に設定してください。 「1」以外に設定した場合、フレーズ選択で「停止」が表示されず、選択することができません。
フレーズ数	1	
音源選択	内蔵音源	
曲目選択	停止	再生を停止するために、「停止」に設定します。
再生速度	ーーー	「停止」の場合、再生速度は設定しません。

具体的な使用例5

■動作図

※再生開始と停止は、タイマー（別売）側で設定。



※6
案内放送後は、必ず1フレーズ目の曲頭から再生されます。
例えば、全8フレーズの5フレーズ目の途中で案内放送を再生した場合、案内放送後は、1フレーズ目の曲頭から再生されます。

■チャンネル設定手順

BGM用チャンネルの設定

❶【チャンネル設定】の選択

●メニュー画面で、1)【チャンネル設定】が選択されていることを確認してください。選択されていない場合は、▲▼ボタンを押して1)【チャンネル設定】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❷チャンネルの選択

●チャンネル選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してCH「01」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❸繰返回数と再生間隔の設定

●繰返回数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して繰返回数を「∞」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

●再生間隔設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して再生間隔を「00分」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❹フレーズ数の設定

●フレーズ数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してフレーズ数を「01」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❺音源の選択

●音源選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「SD音源」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

具体的な使用例5

❻音源の設定（曲目の選択）

●曲目選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して任意の案内放送用音源を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❼設定の保存

●設定保存画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して【はい】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

以上で、チャンネル1にBGM用音源のエンドレス再生が設定されました。メニュー画面に戻ります。

案内放送用チャンネルの設定

❶【チャンネル設定】の選択

●メニュー画面で、1)【チャンネル設定】が選択されていることを確認してください。選択されていない場合は、▲▼ボタンを押して1)【チャンネル設定】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❷チャンネルの選択

●チャンネル選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してCH「02」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❸繰返回数の設定

●繰返回数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して繰返回数を「01」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❹フレーズ数の設定

●フレーズ数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してフレーズ数を「01」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❺音源の選択

●音源選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「SD音源」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❻音源の設定（曲目の選択）

●曲目選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して任意の案内放送用音源を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

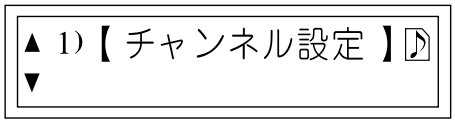
❼設定の保存

●設定保存画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して【はい】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

以上で、チャンネル2に案内放送用音源が設定されました。メニュー画面に戻ります。

停止用チャンネルの設定

❶【チャンネル設定】の選択



●メニュー画面で、1)【チャンネル設定】が選択されていることを確認してください。選択されていない場合は、▲▼ボタンを押して1)【チャンネル設定】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

具体的な使用例5

❷チャンネルの選択

●チャンネル選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してCH「08」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❸繰返回数の設定

●繰返回数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して繰返回数を「1」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❹フレーズ数の設定

●フレーズ数設定画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押してフレーズ数を「01」に設定してください。設定ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❺音源の選択

●音源選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「内蔵音源」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

❻音源の設定（停止の選択）

●曲目選択画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して「停止」を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

●再生速度設定画面になったことを確認し、【決定】ボタンを押してください。
※「停止」の場合、速度設定はおこないません。

❼設定の保存

●設定保存画面になったことを確認し、◀▶ボタンを押して【はい】を選択してください。選択ができたら、【決定】ボタンを押してください。

以上で、チャンネル8に停止が設定されました。メニュー画面に戻ります。

エラー表示

カード挿入時

エラー表示	エラー内容	対策・処置
エラー：データなし	挿入したSDカードにMP3データが入っていません。	・SDカードにデータの転送をするか、他のカードと交換してください。
エラー：カードエラー	挿入したSDカードが正しく認識されていません。	・SDカードを入れなおしてください。それでも認識されない場合はカードが異常ですので、「※2」のSDカードフォーマッタを使いフォーマットをやり直してください。
エラー：FAT32エラー	挿入したSDカードのフォーマット形式がFAT32です。	・SDカードを入れなおしてください。それでも認識されない場合はフォーマットが異常ですので「※2」のSDカードフォーマッタを使いフォーマットをやり直してください。
▲ 1)【チャンネル設定】? ▼	カードマークに「?」が表示。挿入したSDカードが正しく認識されていません。	・SDカードを入れなおし、表示されるエラー表示を確認してください。そのエラー表示に対応した対策をおこなってください。

ご参考　※2 http://panasonic.jp/support/sd_w/download/sd_formatter.html

外部起動、および手動起動スイッチを押したとき

エラー表示	エラー内容	対策・処置
エラー：チャンネル未設定 設定をしてください。	起動したチャンネルは未設定です。	・設定をおこなってください。
エラー：データなし	起動したチャンネルの音声ファイルがありません。	・ユーザー音源のカードを抜いたときに、カード設定を解除せず、さらに別のカードを入れた可能性があります。再度、設定をしてください。
エラー：カードなし	起動したチャンネルは、ユーザー音源なのにかかわらず、ユーザー音源のカードが入っていません。	・ユーザー音源のカードを抜いたときに、カード設定を解除せず、そのまま放置している可能性があります。再度、設定をしてください。

停止時

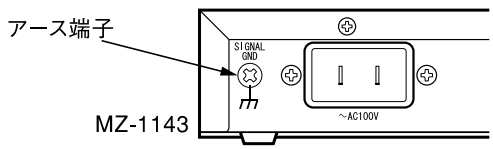
エラー表示	エラー内容	対策・処置
エラー：内蔵データ異常	内蔵音源のデータが異常です。	・電源を入れなおしてください。それでも直らない場合は、販売店までご相談ください。

困ったときは・・・

症状	対策・処置
DT-1800から通信で起動をかけても、MZ-1143が起動しない。	・MZ-1143を複数接続している場合、機器番号が重複していませんでしょうか？ 機器番号は1番から順に空き番号を作らないように設定してください。21ページ ・専用通信ケーブルが外れていないでしょうか？8ページ ・DT-1800の機器番号設定は、正しくおこなわれていますでしょうか?
再生中に外部起動チャンネル1～7をメークしても、再生しない。	・優先順位が「チャンネル1～7、10～99＜チャンネル8＜チャンネル9（手動）」なので、チャンネル8やチャンネル9（手動）の再生中は、外部起動チャンネル1～7、10～99のメークが無視されます。 優先順位を充分考慮して接続、および設定をおこなってください。7ページ
チャンネル1～7に「停止」設定をしてもチャンネル8や手動起動の再生時に停止が出来ない。	・優先順位が「チャンネル1～7、10～99＜チャンネル8＜チャンネル9（手動）」なので、「停止」の設定が無視されます。 「停止」を最優先させたい場合、再生を設定するチャンネルよりも優先順位の高いチャンネルに「停止」を設定し、停止したいタイミングで起動してください。24ページ
再生が停止しない。	・繰返回数の設定が「∞」（エンドレス再生）になっていませんか? エンドレス再生中のチャンネルよりも優先順位の高いチャンネルに「停止」を設定し、停止したいタイミングで起動してください。 ※最も優先順位の高いチャンネル9（手動）に「∞」を設定している場合は、優先順位の関係で、他チャンネルから再生を停止できません。【取消】ボタンを押す方法で停止してください。24ページ
SDカードを再挿入した際、音源が設定通りに再生されない（曲順がずれる）。	・SDカードを一旦抜く際、カード設定解除画面で【はい】を選択していませんか。 設定内容を維持する場合、【いいえ】を選択してください。 ＜カード設定解除画面で【いいえ】を選択しても、音源設定通りに再生されない場合＞ 本機の外部SD音源はファイル名ではなく、SDカードに書き込まれた順番に付与されるファイル番号で管理しています。SDカードを取り出して削除や上書き、ファイル名変更などを行いますとファイル番号が変更される場合があり、意図した曲が再生されない（曲順がずれる）場合があります。その際は再設定を行ってください。22ページ
各音源ファイルの音量にばらつきがある。	・音量設定で各フレーズの音量を調整してください。18ページ
音源ファイルの音が大き過ぎる、あるいは小さ過ぎる。	・音量設定でフレーズの音量設定をおこなってください。18ページ ・アンプ側のボリュームを調節してください。
音が歪む。	・アンプの入力レベルは適切ですか?適切な入力端子に接続してください。8ページ
雑音（ハム音）が出る。	・シールド線の極性、ホット:H（芯線）、コールド:C（外径線）を間違えて接続していませんか? 極性を合わせてください。8ページ

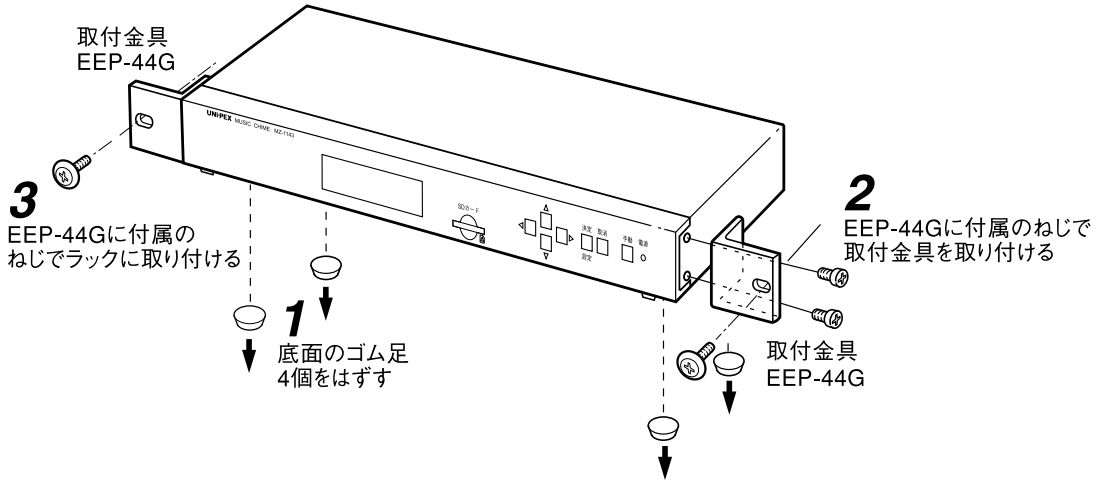
雑音が発生する場合は

●本機に他の音響機器を接続して使用しますと、雑音が発生する場合があります。そのような場合は、本機のアース端子と接続機器側のアース端子を接続してください。雑音発生の原因によっては雑音を軽減することができます。
ご不明な点がございましたら販売店までご相談ください。



EIA規格ラックへの取付方法

EIA規格ラックに本機を取り付ける場合は、別売のEIAラック取付金具EEP-44Gで下図のように取り付けてください。



1 ゴム足(4カ所)をはずします。

2 本機の両端にラックマウント金具EEP-44G(別売品)を取り付けます。
取付ねじ(4本)で確実に固定してください。

3 本機をラックに取り付け、ラック取付ねじ(EEP-44Gに付属)で固定します。

メモ

・電力アンプと一緒にラックへ取り付ける場合は、電力アンプと本機との間を1U以上あけてください。
・ラック内の温度が使用温度範囲を超えないように、通風や換気を良くしてください。
・EEP-44Gはグレー仕上げ、EEP-44はブラック仕上げです。寸法はどちらも同じです。

著作権法について

■あなたが本機を利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集などしたものや、他人の講演などを録音したものは、個人として楽しむなどの他は著作権法上、権利者に無断で使用できません。

●放送コード、CD、その他の録音物や他人の演奏などは、音楽の歌詞・楽曲と同じく著作権法により保護されています。従って、個人使用の範囲を超えて、それらを録音、編集して、販売・レンタル・譲渡したり、営利のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

●詳しい内容や、著作権物に関する許諾のための手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

使用上のご注意

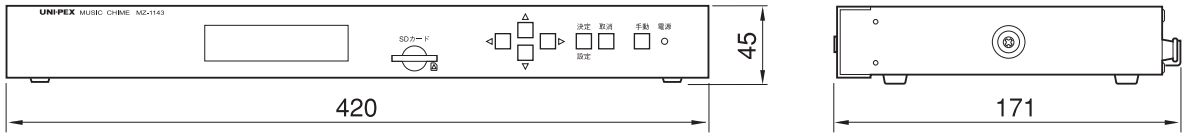
当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

①本機の故障または不具合によりカード内のデータが破損または消去された場合、データの内容の補償。

②本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害。

③本機の通信コネクタには、専用機器(DT-1800もしくはMZ-1143)以外の機器を絶対に接続しないでください。

外観寸法図 (単位mm)



定格

使用電源	AC100V 50/60Hz、DC24V (AC優先)
消費電力	12 W
定格出力	0 dBV ±3 dB
出力負荷インピーダンス	600Ω　不平衡
信号対雑音比	75 dB以上
再生曲数	外部起動入力：8曲（外部起動入力：8チャンネル） 通信起動入力：99曲（外部起動入力：8チャンネル、手動起動入力分は共用）
再生曲目	ウエストミンスターの鐘A /ウエストミンスターの鐘B /家路 /野ばら /エリーゼのために/蛍の光/ グリーンスリーブス/ラジオ体操第一（号令入り）/よろこび/あおぞら /ゆうやけこやけ /ふるさと/ 恋は水色/エーデルワイス /上り4音チャイム/下り4音チャイム/警報音1 /警報音2 /警報音3
コントロール出力	無電圧メーク接点　(出力接点容量： DC30V 0.5A)
起動方式	無電圧メーク接点による自動スタートおよび全面操作部によるテスト起動、 手動起動ボタンによる起動、機器間通信による起動
音量設定	各チャンネル、およびフレーズごとに32段階調節可
遅延時間	0〜6秒
繰返再生回数	1〜15回、∞（エンドレス）
各種機能	テスト再生機能、手動起動再生機能、設定保存機能、 エンドレス再生機能（インターバル機能付）、フレーズ再生機能
カード設定	SD音源、内蔵音源の選択
表示	液晶表示、電源：発光ダイオード（緑）
使用温度範囲	−10℃〜+60℃
外装	パネル：（メッキ鋼板）マンセルN4.5 近似色 グレー　塗装 カバー：（ビニール鋼板）マンセルN1 近似色 黒
外形寸法	幅420mm　高さ45mm(ゴム足含む)　奥行171mm
質量	約 2.1 kg
付属品	取扱説明書（保証書付）1、専用通信ケーブル1、AC電源ケーブル1
適合品	EIA規格ラック用（1U）取付金具　EEP-44G　EEP-44

設定内容の記録表

●各チャンネルの設定内容を記録してご使用ください。内容の変更が予測される場合はコピーしてご利用ください。

No.

チャンネル番号	繰返回数／再生間隔	フレーズ数	フレーズ番号	音源／曲目（ファイル名）	再生速度	音量	遅延時間	機器番号	メモ
CH			PH						
CH			PH						
CH			PH						

設定内容の記録表

No.

チャンネル番号	繰返回数／再生間隔	フレーズ数	フレーズ番号	音源／曲目（ファイル名）	再生速度	音量	遅延時間	機器番号	メモ
CH			PH						
CH			PH						
CH			PH						